

LRP

R E P O R T



LET'S READ PROJECT
REPORT

2017

はじめに

私たち Let's Read Project (以下 LRP) は、読書を推進することを目的に 2008 年に発足した。

定期的で開催される企画本棚はその最たるもので、新入生の入学を祝う新入生歓迎本棚を筆頭に、今年の夏には『涼しい本棚』と題し、ゾッとするような怪奇な内容の小説から清涼感を得られる写真集、深海生物の図鑑など様々な本を集めた。大学祭では、絵本の読み聞かせを行い、それに合わせて絵本の展示と幽霊の本や不気味な小説を集めた『こわい本棚』の展示も行った。

また、こうした活動のほかに構外に出ることもある。今年の夏は国立国会図書館を訪問し、内部を見学したり、業務について説明を受けた。日本最大の図書館だけあってすべてを見て回ることはできなかったが、図書館という存在について一層深く学ぶことができた。

ここに、私たち LRP の一年間の活動をまとめたレポートを作成する。

本は著者と読者をつなぐものだが、LRP の活動によって、大学祭での絵本の読み聞かせに地域の方が参加して下さったように、より大勢の人々をつなぐことができる。皆さんがこのレポートを読み、私たち LRP の活動や紹介された本に興味を持つことがあれば、このレポートはすでに読者の皆さんと私たち LRP、そして本の著者をつなぐことに成功しているのである。

総合文化学科 1 年 山名案山子

LRP REPORT

LET'S READ PROJECT REPORT

CONTENTS

はじめに	2
『宝物の一冊』	4
LRP2017年度活動報告	6
『新入生歓迎本棚 2017』公開	7
『新入生歓迎本棚 2017』公開記念プレゼンテーション開催	8
『すずしい本棚』公開	9
国立国会図書館見学ツアー 2017、メンバーの感想	10
『LRP イベント in 和光大学祭』開催	12
『絵本本棚 2017』、『こわい本棚』公開、 『ゲーム本棚』、『発掘本棚』公開	14
第11回選書ツアー	15
PICK UP BOOK	16
LRP Profile	18

表紙：選書ツアー(2018年2月)にて
《紀伊國屋書店新宿本店》

宝物の一冊

本を好きになるきっかけとなった一冊、心に残る一冊など
メンバーの宝物の一冊を紹介します。



1 書名：ビブリア古書堂の事件手帖 ～菓子さんと奇妙な客人たち～
著者：三上延
出版社：株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス
(メディアワークス文庫)

エピソード：読書は好きだったが、明確に「読みたい」って思うような本に巡り合うこともなく、教科書以外の「本」という媒体にすら触れなくなった。高校二年生で図書委員会に所属したとき、新刊コーナーに『ビブリア古書堂の事件手帖』が置かれていた。表紙のイラストに惹かれて読んでみたら、文体が易しかったもあり、すぐにその世界に引き込まれた。薄暗い古書店、本が詰まった書架の通路に、黒髪の店主が「すー、すー」と口笛を吹いて楽しそうに本を読んでいる。店主はこちらに気が付いて、本の感想を語ってくる。不思議とその作品を自分も読みたいと思わせる魅力に溢れたこの本を読んで、私は本を再び読むようになった、思い出深い一冊だ。(心理教育学科3年もちづき)

2 書名：ベラスケスの十字の謎
著者名等：エリアセル・カンシーノ作；宇野和美訳
出版社：徳間書店

エピソード：まだ読書に興味のなかったころ、小学校の図書室で見つけた本。モノクロの絵画の中で犬と少年だけが色付きで、少年の手には変わった形の十字架が握られている表紙に不思議とひかれて手に取った。内容は、実在するベラスケスの『侍女たち(ラス・メニーナス)』という絵画の謎を絡めて、ひとりの少年の成長を描くミステリー・ファンタジーである。絵が描かれたところのスペイン宮廷の様子がわかりやすく描かれており、ファンタジーとノンフィクションの間を歩いているような読み心地が楽しかった。自分に読書の楽しさを教えてくれた「始まりの一冊」であり「宝物の一冊」である。(心理教育学科3年納戸色)



書名：ダブルブリッド
著者：中村恵里加 イラスト：藤倉和音(1～2巻)、たけひと(3巻以降)
出版社：株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス
(電撃文庫)



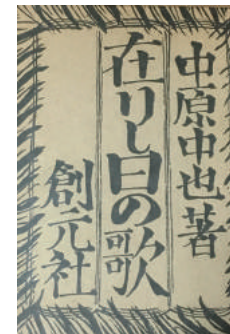
エピソード：「ダークな雰囲気のアパートでおすすめありませんか？」このライトノベルとの出会いは、そんな漠然とした質問にすぎなかった。大学生になったばかりの春先、知人に薦められたこの本をひたすら読み耽り、一ヶ月待たずして全十巻を読破してしまったのはよい思い出。本作品には、種々雑多な妖(アヤカシ)が登場する。彼女らはそれぞれの価値観を宿し、人間とはまた違った見方によって読者の感性に指を伸ばしてくる。その刺激は、ときには暖かな抱擁として、ときには鋭利な刃物となって私の心を衝き、読後の余韻は一入のものだった。そんな『ダブルブリッド』は、今でも宝物の一冊として胸の中にしまわれている。(総合文化学科3年ジンジャー)

3

書名：都会のトム&ソーヤ 第2巻
著者：はやみねかおる
出版社：講談社

エピソード：私が長い物語の本を読み始めるきっかけとなったシリーズ小説。二人の中学生が都会を舞台に大冒険を繰り広げる話だ。特に第二巻はあまりにも面白くて一気に読んでしまった記憶がある。分厚い本に苦手意識のあった私の手を引いて、小説の楽しさを教えてくれた特別な一冊だ。(総合文化学科3年an)

4



5 書名：在りし日の歌(精選名著復刻全集近代文学館)
著者：中原中也
出版社：日本近代文学館

エピソード：子供向け教育番組で放送されている中で昔から好きだったのが、中原中也の「サーカス」という詩。テレビの画面が真っ黒に塗りつぶされ、「ゆやーんゆやーんゆやゆよん」という音とともに左右に揺れるというたったそれだけの映像だったのですが、なぜか深く心に刻まれていました。そして高校生の時に文学全体に熟を上げ、その時に地元の行きつけの古本屋で購入しました。中也が亡くなってすぐの頃に友人だった小林秀雄が刊行したもので、当時の装丁をそのまま再現しています。文庫で再録というのはよくありますが、表紙やフォントまでを再現したものというのはなかなか無く、古本屋で購入したこの本は、私の宝物になっています。(芸術学科2年都)

書名：銀河鉄道の夜(銀河鉄道の夜：童話I・少年小説ほか)
著者：宮沢賢治
出版社：筑摩書房

エピソード：この本は大学祭のビブリオバトルの時に推薦した本です。名前も、どんな話かもなんとなく知っていた作品でしたが、そういえばちゃんと読んでいたことがないなと思い、手に取ったのがきっかけでした。読んでいくうちに、宮沢賢治の独特の文体や世界観に魅了されていきました。私だけではなく、手に取って頂いた皆様の「宝物の一冊」になってくれたら嬉しいです。(総合文化学科1年 ぼてと)

6



書名：妖怪アパートの幽雅な日常
著者：香月日輪
出版社：講談社文庫

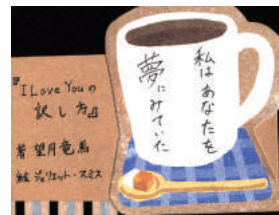


エピソード：中学生の頃に何度も読んだ一冊。主人公の稲葉タ士が進学に伴い入るはずだった学生寮が火事で全焼してしまい、偶然出会った格安アパート寿荘に引っ越した。そこでこの世ならざる妖怪たちと出会い、彼らとの交流を通して成長する物語。この物語に登場する妖怪たちは長く生き続けたことにより独自の価値観を抱き、中学から高校にかけて成長していく真ただ中にある主人公は、彼らとのかかわりや周囲の人間との衝突を経てさらに成長する。その中で彼が得る結論には、読者である私たちにもはっとさせられるものがある。(総合文化学科1年 山名案山子)

LRP 2017年度活動報告



『I Love You の訳し方』
望月竜馬著 ジュリエット・スミス絵 雷鳥社



LET'S READ PROJECT 『新入生歓迎本棚2017』ブックリスト

タイトル／著者ほか	出版社
1 猫の日本史：猫と日本人がつむいだ千三百年の物語 / 桐野作人編著	洋泉社
2 神道はなぜ教えないのか / 鳥田裕巳著	ベストセラーズ
3 グループ消息不明 / エドゥアルド・メンドサ著；柳原孝敦訳	東宣出版
4 十三番目の人格 (ベルソナ) : Isola / 貴志祐介著	角川書店
5 ナミヤ雑貨店の奇蹟 / 東野圭吾著	KADOKAWA
6 アクロイド殺し / アガサ・クリスティ著；羽田詩津子訳	早川書房
7 菜子さんと奇妙な客人たち / 三上延著	アスキー・メディアワークス
8 生ける屍の死 / 山口雅也著	東京創元社
9 天使の囁き / 貴志祐介著	角川書店
10 優しい死神の飼い方 / 知念実希人著	光文社
11 星の辞典 / 柳谷紀一郎著	雷鳥社
12 高い城の男 / フィリップ・K・ディック著；浅倉久志訳	早川書房
13 最初の刑事：ウィッチャー警部とロード・ヒル・ハウス殺人事件 / ケイト・サマースケイル著；日暮雅通訳	早川書房
14 猫の伝説 116 話：家を出ていった猫は、なぜ、二度と帰ってこないのだろうか？ / 谷真介著	泉社
15 わたしはこうして執事になった / ロジーナ・ハリソン著；新井雅代訳	白水社
16 本を守ろうとする猫の話 / 夏川草介著	小学館
17 狐霊の檻 / 廣嶋玲子作；マジロウ絵	小峰書店
18 キリンの子：鳥居歌集 / 鳥居著	KADOKAWA
19 カエルの楽園 = The paradise of frogs / 百田尚樹著	新潮社
20 ハリー・ポッターと呪いの子 / J.K. ローリング, ジョン・ティファニー, ジャック・ソーン著；ジャック・ソーン舞台脚本；松岡佑子訳	静山社
21 ホワット・イフ？：野球のボールを光速で投げたらどうなるか / ランドール・マンロー著；吉田三知世訳	早川書房
22 夢 / 夏目漱石, 芥川龍之介ほか [著]；山科理絵絵	汐文社
23 面白くて眠れなくなる植物学 / 稲垣栄洋著	PHP エディターズ・グループ

4月27日

『新入生歓迎本棚2017』公開

春休みに行った「選書ツアー」で LRP 学生メンバーが新入生にオススメの本を選びました。おすすめポイントなどを記した POP を作成し、本棚の展示を行いました。学生ならではの視点で、様々な分野の本を揃えています。



『数のはなし：ゼロから∞まで』
パニー・グラムパッカー著 斉藤隆央, 寺町朋子訳 東洋書林



タイトル／著者ほか	出版社
24 いとしのおじいちゃん映画：12人の萌える老俳優たち / ナイトウミノワ著	立東舎
25 I Love You の訳し方 / 望月竜馬著；ジュリエット・スミス絵	雷鳥社
26 狩人の悪夢 / 有栖川有栖著	KADOKAWA
27 詳説世界史研究 / 木下康彦, 木村靖二, 吉田寅編	山川出版社
28 もしも、アインシュタインが間違っていたら？：尋ねてみたい物理学の大問題 / ブライアン・クレグ編集；広瀬静訳	すばる舎リンクージ
29 大学でまなぶ日本の歴史 / 木村茂光 [ほか] 編	吉川弘文館
30 図解神道とときたり事典：日本人なら知っておきたい！ / 茂木貞純監修	PHP 研究所
31 数のはなし：ゼロから∞まで / パニー・グラムパッカー著；斉藤隆央, 寺町朋子訳	東洋書林
32 魔法：その歴史と正体 / K・セリグマン著；平田寛訳	人文書院
33 日本の伝統 & 絶景 100 / 朝日新聞出版編集	朝日新聞出版
34 紅茶の大事典 / 日本紅茶協会編	成美堂出版
35 マスペディア 1000 = Mathpedia 1000 / リチャード・エルウィス著；宮本寿代訳	ディスカヴァー・トゥエンティワン
36 世界の発明発見歴史百科 / テリー・ブレヴァートン著；日暮雅通訳	原書房
37 寿命図鑑：生き物から宇宙まで万物の寿命をあつめた図鑑 / やまぐちかおり絵；いろは出版編著	いろは出版
38 日本の美しい色の鳥 / 上田恵介監修	エクスタレッジ
39 世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ / [ムヒカ述]；くさばよしみ編；中川学絵	汐文社
40 おかしなパン：菓子パンをめぐるおかしなためになる対談集 / 池田浩明, 山本ゆりこ著	誠文堂新光社
41 アルテミス・ファウル 妖精の身代金 / オーエン・コルファー著；大久保寛訳	角川書店
42 アルテミス・ファウル：失われし島 / オーエン・コルファー著；大久保寛訳	角川書店
43 魔物のためのニューヨーク案内 / ムア・ラファティ著；杉田七重訳	東京創元社
44 十三世紀のハローワーク：中世実在職業解説本 / グレゴリウス山田著	一迅社
45 君の名は。：Another Side:Earthbound / 新海誠原作；加納新太著	KADOKAWA



No.
2

5月8・9・10日

『新入生歓迎本棚2017』公開記念プレゼンテーション開催

春休みの選書ツアーに参加したLRP学生メンバーが、選んだ本の中から「おすすめの1冊」のプレゼンテーションを行いました。3日間にわたって、合計12人のメンバーが、図書・情報館3階LRPコーナー前のフリー閲覧コーナーにて、「この本はここが面白いです!」、「私がこの本に出会ったきっかけは…」など、本にまつわる話を披露しました。

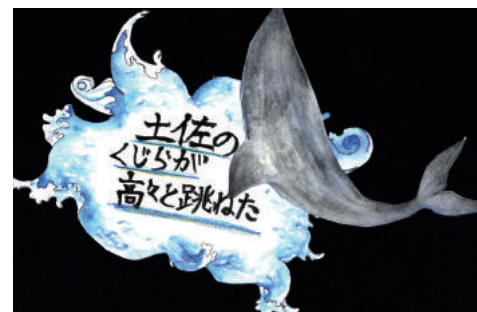


No.
3

7月7日

『すずしい本棚』公開

夏休み。2017年も暑い夏が到来しました。メンバーが選んだ「すずしい」本を集めました。



『夏のくじら』大崎梢著
文藝春秋

『インシテミル』米澤穂信著
文春文庫



人文科学的な実験を
記した本書の読者を
募集します。
時給1120000円

SHMクラブ



No.
4

8月18日

国立国会図書館見学ツアー 2017

2017年度の夏の見学ツアーでは、8月18日、永田町の国立国会図書館に行きました。学生メンバー14名、図書・情報館スタッフ2名が参加しました。約10分の紹介DVD鑑賞の後、職員の方の案内により、館内を見学。国会図書館内の利用提供スペース(閲覧席・資料出納カウンター等)部分はもちろん、普段は見ることのできない、書庫スペースなどのバックヤード見学も行いました。地下8階から地上2階までの吹き抜け部分や、マンガ雑誌の創刊号が保管されている書庫など、様々な部分を見学させていただきました。大変興味深く、あっという間の2時間弱の見学ツアーとなりました。

メンバーの感想

国立国会図書館で目を引いたのは機能美です。中央を受付スペースにすることで、とても広い館内でも利用者は快適に移動できます。また、停電時も旧式の伝達機能を用いて図書館が機能するなど、常に最先端で整えるだけでなく、万事に備えた機能を適材適所で用意している点に感心しました。
(総合文化学科3年 ジンジャー)

国立国会図書館は、普通の図書館とは違い、ほぼすべての図書が書庫に保管されている図書館だ。しかし、それでもなるべく速く利用者に提供できるように、特殊な機械を使ったりたくさんの工夫がされていて、とても驚かされた。
(総合文化学科3年 an)

非常に印象的だったのは、資料を保管する書庫が地下にあるということだった。それを聞いた当初は意外に感じたが、地震の被害を防ぐ目的や建物自体の風化や劣化を防ぐという、非常に合理的な理由があることにとても感心した。また、外部から書庫に入るときは靴に覆いをする規則や、劣化や破損があまりに激しい図書資料に関しては閲覧時に職員の監視が付くなど厳重な体制を敷いているなど、並々ならない図書に対する態度と、利用者への情報提供と勉学の補佐をするという図書館の在り方の根幹を見たと思う。
(総合文化学科1年 山名案山子)

数字だけでしか知らなかった蔵書を実際に目の前にして、ただただ圧倒されました。大人しか入れない特殊な空間であることを自覚すると、なんだか背筋が伸びる思いでした。貴重な体験ができてよかったです。
(総合文化学科3年 前途)

初めて訪れた国会図書館は、話聞いていたほど天井は低くなく、快適な空間が保たれていて、居心地がよかった。ここにある本を一人で読もうと思ったらどれくらいかかるのか、途方もなく感じるが、それに加えてわくわくするような思いだった。
(芸術学科2年 都)

11月4・5日

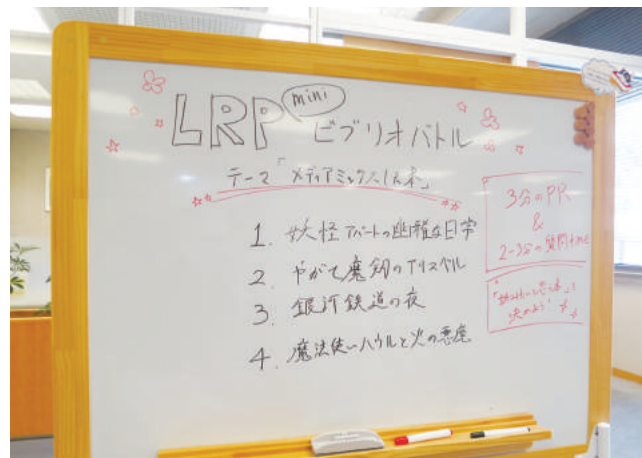
『LRPイベント in 和光大学祭』開催

11月4・5日(土・日)の大学祭に合わせて、LRPメンバー企画のイベントを開催しました。今年は、特に読み聞かせ・ビブリオバトルともに、大学祭に来る子どもや一般の方々に見ていただくために、事前に練習を重ね、臨んだ2日間でした。



絵本読み聞かせ

司書課程を履修しているメンバーを中心に、子どもから大人まで楽しめる絵本の読み聞かせを行いました。2日間で計3回開催しました。当日は、親子連れの方々にもご参加いただきました。和光大学所蔵の絵本に加えて、メンバーの私物の絵本も登場し、バラエティあふれる企画となりました。



ミニビブリオバトル

テーマは「メディアミックス」。元は小説でも、映像・舞台化などで違ったメディアに取り上げられた本を、メンバーがプレゼン、チャンプ本を決めました。2日間で2回開催しました。チャンプ本は、『オカルティック・ナイン』(志倉千代丸著 マガジンハウス 2014)、『銀河鉄道の夜』(宮沢賢治作 筑摩書房 2016)、『日の名残り』(カズオ・イシグロ著; 土屋政雄訳 中央公論社 1990)でした。



まんが広場

メンバーお気に入りのまんがを持ち寄り、3Fフリー閲覧コーナーにて展示しました。



フリーペーパー

来場者の方に見ていただくため、フリーペーパー(わたしの選んだおすすめ本/LRPの紹介)を作成しました。

10月27日

『絵本本棚』、『こわい本棚』公開

読書の秋の企画本棚は、ダブル企画です。
「絵本本棚 2017」では、メンバーおすすめの、懐かしい子どもの頃に読んだ絵本や児童書を集めました。一方の「こわい本棚」では、ちょっと不思議で、ちょっとゾクッとするような本を集めました。



No. 6

No. 8



2月5日

第11回 選書ツアー

春に入学する新入生を迎えるための本棚作りに向けて、選書ツアーに行きました。場所は毎年お世話になっている紀伊國屋書店新宿本店です。参加メンバーは11名。事前に図書・情報館内をスタッフと一緒に見て回ったり、各自で下調べをするなど準備をして臨みました。

ツアー当日は、店内で1時間半の選書の後、紀伊國屋書店のイベントスペースをお借りして各自プレゼンを行いました。メンバー同士で選んだ本の紹介をした後、「大学図書館に置く本としてふさわしいか」、「新入生歓迎のコンセプトに合っているか」等々の熱い議論が繰り広げられました。本好きな仲間たちが一番生き生きとした姿を見せたひと時でした。

No. 7

1月10日

『ゲーム本棚』 『発掘本棚 —実はこんな事典・図鑑あります—』公開

2017年度最後の企画本棚は「ゲーム本棚」と「発掘本棚—実はこんな事典・図鑑あります—」のダブル企画です。

ゲーム（競技）をプレイする

描写のある作品を集めた「ゲーム本棚」と、書架にひっそり佇む、借りられる事典・図鑑類を集めた「発掘本棚」。メンバーの個性が光る魅惑的な本棚ができあがりました。



メンバーの感想

学術資料を選書する難しさを改めて思い知った。
(心理教育学科3年 もちづき)

色々大変でしたが、皆さんの意見を聞いてとても楽しかったです。
(総合文化学科1年 大和)

今年もこずに数学の本を選びました。楽しく「数学」と再会をする大学一年生が増えてほしいです。
(心理教育学科3年 納戸色)

選書が中々難しかった。新入生に薦めるのは大変であった。
(総合文化学科1年 水仙)

書店の中をぐるぐる回るのはやっぱり楽しい。
(総合文化学科3年 an)

プレゼンテーションをした作品のほとんどが、書店に行き初めて見たものが多かったのですが、新入生にオススメできる作品を選書することができてよかったです。
(総合文化学科1年 ぼてと)

今回も書店での出会いを楽しむことができました。
(総合文化学科3年 前途)

従来の書店とは比にならない本の量に衝撃を受けた。
(総合文化学科1年 一条公三郎)

去年に比べてかなりのびのびと本を選ぶことが出来たように思う。自分としてはとても満足いく選書になった。
(芸術学科2年 都)

大学に置く図書であることを私自身軽視していたと反省している。来年はもっと受入れられやすいものを選ぼうと思う。
(総合文化学科1年 山名案山子)

新入生にオススメのミステリを選び抜けたと思います。
(総合文化学科2年 満足鮫)

PICK UP BOOK

LRPメンバーおすすめの本をご紹介します。
渾身のおすすめコメントと併せて、お楽しみください。



食堂かたつむり

小川糸著／ポプラ社／234p

本恋も家財も声も無くした倫子が故郷で食堂を開き、一日一組のお客様のために特別な食事を作る物語。素朴な文章だからこそ沁み込み、まるで作品そのものが「食堂かたつむり」で出される料理であるように感じる。

(心理教育学科3年 もちづき)



あの頃のBLの話しよう：ボーイズラブインタビュー集

よしながふみ著／桜雲社／247p

今でこそ気軽に「BL（ボーイズラブ）」というジャンル。このジャンルの黎明期の真ただ中にいた漫画家、小説家、編集者が「あの頃」について語るインタビュー本。涼しげなカラーの表紙からは想像できない濃さ、熱さ。BL好きなら必読の一冊。

(心理教育学科3年 納戸色)



ノワレ 怪奇作家真木夢人と幽霊マンション(上)(中)(下)

甲田学人著／メディアワークス文庫(株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス)／上225p, 中207p, 下268p

日くつきのマンションを舞台に繰り広げられる狂気の日常。首筋にゾッと纏わりつくような文章表現によって織り成される、奇怪でありながらどこにでもありそうな物語が痛切に胸を抉る。

(総合文化学科3年 ジンジャー)



ピンクのれいぞうこ

ティム・イーガン著・絵 まえざわあきえ訳／ひさかたチャイルド／32p

ネズミのドズワースがガラタ置き場で見つけたのは、ピンクのれいぞうこ。ドアを開けるとそこには驚きものが入っていた！新しいことをチャレンジすることに、臆病になっている人に読んでほしい一冊。

(総合文化学科3年 an)



エドワード・ゴッリーの優雅な秘密

エドワード・ゴッリー画 カレン・ウィルキン、濱中利信、柴田勢津子著 柴田元幸、小山太一訳／河出書房新社／143p
存命中は叶わなかった、愛しのゴッリー in Japan の奇蹟。濱中さん原画コレクションの展示会もプラスで大興奮。4回(福島、宇都宮)行っても全然足りません。2018年は八王子らしく、日参の予感。その展示会の日本独自の図録。行けない日々への潤いとして。

(総合文化学科3年 ノイン)



クビシメロマンチスト：人間失格・零崎人識

西尾維新著／講談社ノベルス／381p

衝撃のデビュー作『クビキリサイクル』の続編。愉快なお友達も増えて楽しい学生生活をするかと思いきや、京都に出没した連続殺人鬼に出会うシリーズ屈指の問題作。

(総合文化学科3年 前途)



オーデュボンの祈り

伊坂幸太郎著／新潮文庫／464p

コンビ強盗に失敗した逃走犯、未来が分かる喋るカカシ、嘘しか言わない画家、「鳥の法律として」殺人を許された男。不思議な鳥、「荻鳥」を舞台に未来が分かるはずのカカシが殺されたことから始まる、白昼夢のような物語。ただのミステリーと侮るなかれ!ラストにきっと驚くはず。

(芸術学科3年 壱五)



十角館の殺人

綾辻行人著／講談社文庫／495p

新本格派、綾辻行人の代表作です。合宿のため九州のとある孤島を訪れた推理小説研究会のメンバーが殺人事件に巻き込まれ……という王道ミステリーになっています。また、この本は「館」シリーズと呼ばれ、2017年現在で九冊も出ている人気シリーズでもあります。

(総合文化学科2年 満足鮫)



幽霊塔

江戸川乱歩著／岩波書店／298p

主人公北川光雄の叔父が偶然買い取った時計塔のある屋敷。そこにいた謎の美しい女性野末秋子。なぜ幽霊塔と呼ばれるのか、隠された財宝、そして秋子の秘密の過去を追う、乱歩の大正怪奇ミステリー。また、口絵に収録された宮崎駿の解説、考察も魅力的。

(芸術学科2年 都)



小学五年生

重松清著／文春文庫／282p

十七篇の短編集。「こども」から「大人」に変わりつつある小学五年生の少年少女たちが色彩豊かな感情を描く。春夏秋冬、目まぐるしい日々の中で小学生に芽生えるのは感情という宝物。

(総合文化学科1年 大和)



服従

ミシェル・ウエルベック著 大塚桃訳／河出書房新社／299p

反イスラム教の発言で有名な仏作家が書く、イスラム教と性を主題にした作品です。著者は露骨な描写を書くことでも有名です。美しく若い女性たち。ヴェールに隠された魅惑の肢体。惹かれていき、イスラム教へ改宗する主人公の変化をお楽しみください。

(総合文化学科1年 水仙)



斜陽

太宰治著／新潮文庫／244p

「最後の貴婦人」の娘であるかず子と目線が語られる話。今年、所在不明だった太宰治直筆の『斜陽』の原稿が発見されたことで再び本作品が注目されている。

(総合文化学科1年 ぼてと)



世界最終戦争 増補版

石原莞爾著／毎日ワーズ／292p

「将来的に、日本を中心とする東洋文明とアメリカを中心とする西洋文明が人類の覇権をめぐり、世界最終戦争が勃発…」という著者の構想書。

(総合文化学科1年 一条公三郎)



世界の神々&伝説の神獣事典：奇想天外!神さまたちが大あばれ!：神々102神獣・幻獣46

ながたみかこ著 松村一男監修／大泉書店／223p

世界の神々や神獣、英雄たちをわかりやすい文章と挿絵で紹介している。土地ごとの神話の世界観も同時に紹介しているため、だれにでもとても理解しやすいつくりになっている。これから和光大学で神話を学ぼうとする学生にとっては入門書にもなるはず。

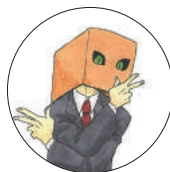
(総合文化学科1年 山名案山子)



【所属学科】心理教育学科【学年】3年【ペンネーム】もちづき
 【好きな本or作家】辻村深月、森見登美彦など
 【ひとこと】楽しく生きていきたい。



【所属学科】心理教育学科【学年】3年【ペンネーム】納戸色
 【好きな本or作家】ルイス・キャロル
 【ひとこと】オタクとしてアリスは履修しておいて損はない。



【所属学科】総合文化学科【学年】3年【ペンネーム】ジンジャー
 【好きな本or作家】甲田学人著『靈感少女は箱の中』
 【ひとこと】わたしはメルヘンになりたい



【所属学科】総合文化学科【学年】3年【ペンネーム】an
 【好きな本or作家】川村元気著『世界から猫が消えたなら』、はやみねかおる、空知英秋
 【ひとこと】ノパソと自転車が欲しすぎる今日この頃



【所属学科】総合文化学科【学年】3年【ペンネーム】ノイン
 【好きな本or作家】もちろん他も好きだが、偏愛は19、20世紀英国の作家（オースティン、フォスター、クリスティー等）。
 【ひとこと】愛しのゴリーさんの原画が日本にあるかと思うと日々幸せ。



【所属学科】総合文化学科【学年】3年【ペンネーム】前途
 【好きな本or作家】時雨沢恵一、西尾維新、伊藤計劃など
 【ひとこと】箱庭の中にありったけの幸せを詰めたい



【所属学科】芸術学科【学年】3年【ペンネーム】杏五
 【好きな本or作家】伊坂幸太郎
 【ひとこと】眠りが浅いです



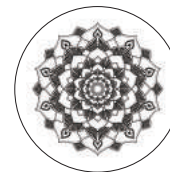
【所属学科】総合文化学科【学年】2年【ペンネーム】満足鮫
 【好きな本or作家】アガサ・クリスティー
 【ひとこと】「そして誰もいなくなった」はまだ読んでいません。



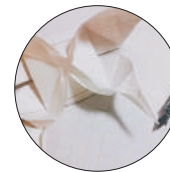
【所属学科】芸術学科【学年】2年【ペンネーム】都
 【好きな本or作家】茅田紗胡、香月日輪、中原中也、江戸川乱歩等
 【ひとこと】近代文学中心になんでも食う。中原中也を溺愛している。



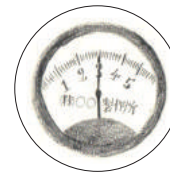
【所属学科】総合文化学科【学年】1年【ペンネーム】大和
 【好きな本or作家】久美沙織、重松清
 【ひとこと】誕生日プレゼントは国立図書館をお願いします。



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【ペンネーム】水仙
 【好きな本or作家】ミシェル・ウエルベック
 【ひとこと】偶にはエロチシズムを含む作品を読んでみては。



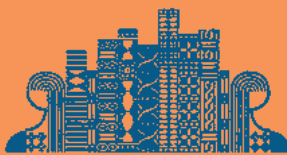
【所属学科】総合文化学科【学年】1年【ペンネーム】ぼとと
 【好きな本or作家】市川朔久子著『よるの美容院』
 【ひとこと】おいしいご飯があれば今日も一日がんばれる



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【ペンネーム】一条公三郎
 【好きな本or作家】荒俣宏著『帝都物語』、村上龍著『半島を出よ』、あと万城目学作品も少々。
 【ひとこと】「灯台下暗し」と「大正デモクラシー」はどことなく似ております。



【所属学科】総合文化学科【学年】1年【ペンネーム】山名案山子
 【好きな本or作家】赤松中学著『緋弾のアリア』
 【ひとこと】来年からは二年生になります。サークルを担う主軸の一人として、精力的に活動しようと考えています。



LRPルームは、図書・情報館2Fにあります。
「開室中」であれば、メンバーが中にいます。
気軽に声をかけてください。



LRPレポート2017
2018年3月20日発行

[編集]「LRPレポート」編集委員会 [発行]和光大学附属梅根記念図書・情報館
〒195-8585 東京都町田市金井町2160 TEL : 044-989-7494 E-mail : library@wako.ac.jp